

5月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
文芸	5月15日	177877	みつばの泉ちゃん	小野寺史宜	1600	四六判	288	千葉県生まれ。2006年『裏へ走り蹴り込め』でオール讀物新人賞を受賞。2008年、『ROCKER』でポプラ社小説大賞優秀賞を受賞。著書に『みつばの郵便屋さん』シリーズ、『ライフ』（以上、ポプラ社）、『夜の側に立つ』（新潮社）、『ひと』（2019年本屋大賞ノミネート作品／ともに祥伝社）などがある。	自分がいやな人間だってことはもうわかってんの。わかってんのに直せないんだからダメな人間だってことも——。そう思っている片岡泉は、本人の自覚に反して出会う人に鮮やかな印象を残していく。小学生時代を知る近所の大学生も、中学の友だちも、アルバイト先の店長も、喧嘩別れした元カレも——誰もが後から、あの正直さに背中を押されていたことに気づくのだ。欠点だらけの「泉ちゃん」が巻き起こす、素晴らしい物語。

6月

ジャンル	配本日	ISBN 9784591	書名	著者	予価	判型	頁数	著者紹介	内容紹介
翻訳	6月12日	178102	世界で最後の花	ジェームズ・サーバー 村上春樹	1600	B5変形上製	112	作家、漫画家。雑誌『ザ・ニューヨーカー』の編集者・執筆者としても活躍した。普通の人々の欲求不満や奇抜さを描いた漫画で知られており、その時代の最も人気のあるユーモリストの一人。彼の短編『ウォルター・ミティの秘密の生活』は、1947年（邦題『虹を掴む男』）と2013年（邦題『LIFE!』）に映画化された。	第十二次世界大戦が起きた世界。町も都市も、森も林も消え去った。ある日、残った一組の男女が世界で最後の花を見つけ、育て始める。次第に二人は愛し合い、子どもが生まれ、人間たちに活気が戻った。自然も文明も復活した。しかし、人間の心には再び不満が生まれ…。なぜ人間は戦争を繰り返すのか？ 第二次世界大戦開戦の直前に描かれた、今を生きる私たちに託された平和への願い。世界的ロングセラーを村上春樹の新訳で復刊。
レシピ	6月12日	178089	23時のおつまみ研究所	小田真規子 スケラッコ	1300	四六並製	192	料理研究家。栄養士。度重なる試作・研究の末に、食材や調理の原理原則を独自に導き出して概念化し続けてきた。『料理のきほん練習帳』（高橋書店）は、シリーズ50万部を超え、ロングセラーに。2016年料理レシピ本大賞inJapan 準大賞を受賞した『一日がしあわせになる朝ごはん』（文響社）など著書は100冊以上。	おつまみは料理にではなく「娯楽」なり。おつまみにはじつは「6つの軸」があった！ 香り・食感・塩気・うま味・温度・刺激…この6つを理解すれば、最小限の労力で、料理初心者でも最高のおつまみが作れます。「実験レシピ」も読みごたえアリ。残りの人生「全つまみ」が確実においしくなる、リピート続出のレシピ&新常識が157アイデア。人気漫画家スケラッコさん描きおろしの、マンガとイラストもたっぷりの「新・決定版」！
文芸	6月19日	178249	図書館のお夜食	原田ひ香	1600	四六並製	320	1970年、神奈川県生まれ。2005年「リトルプリンセス2号」で第34回NHK創作ラジオドラマ大賞受賞。07年「はじまらないティータム」ですばる文学賞受賞。著書に『そのマンション、終の住処でいいですか？』『古本食堂』『老人ホテル』などがある。『三千円の使いかた』で第4回宮崎本大賞受賞。	東北の書店に勤めるもののうまく行かず、書店の仕事を辞めようかと思っていた樋口乙葉は、SNSで知った、東京の郊外にある「夜の図書館」で働くことになる。そこは普通の図書館と異なり、開館時間が夕方7時～12時までで、亡くなった作家の蔵書が集められた、いわば本の博物館のような図書館だった——。「三千円の使いかた」「ランチ酒」の原田ひ香が描く、本×ご飯×仕事を味わう、心に染みる長編小説。